

第4回青谷地域振興会議議事概要

日時：平成29年8月31日（木） 午後3時00分～5時15分

会場：青谷町総合支所 第2・3会議室

【出席委員】

高橋克己、瀧 洋子、前田孝行、山本 剛、奥谷吉男、鈴木光頼、長谷川和郎、濱江和恵、長谷川英二

以上9名（敬称略）

【欠席委員】

松岡礼子、上田洋子、大石剛史

3名（敬称略）

【事務局】

山本支所長、清水副支所長兼地域振興課長（併教育委員会事務局青谷町分室長）、安達市民福祉課長、土橋産業建設課長、中島水道局西地域水道事務所長、松原地域振興課課長補佐

鳥取市教育委員会事務局生涯学習・スポーツ課蔵増主幹

鳥取県埋蔵文化財センター青谷調査室濱田係長

【日 程】

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 議 題
 - (1) 教育委員会青谷町分室管理施設の指定管理者制度導入について
(資料ダウンロード)
 - (2) 青谷上寺地遺跡の整備活用計画の状況について (資料ダウンロード)
 - (3) 委員提案について (資料ダウンロード)
 - (4) その他
- 4 その他
- 5 閉 会

◎議事概要◎

○台風5号の対応状況について支所長が説明

(1) 教育委員会青谷町分室管理施設の指定管理者制度導入について

○教育委員会事務局が資料「教育委員会青谷町分室管理施設の指定管理者制度導入について」より説明。

対象施設：青谷町野球場・農村広場・テニスコート・青谷町農林漁業者トレーニングセンター・青谷町体育館

【委員】5施設一括で指定管理に出すということですか？

【事務局】青谷地域5施設だけではなくて、気高、青谷、鹿野の体育施設計13か所を一括で一指定管理者団体に出す予定としております。指定管理に出しても、青谷の場合は、職員をトレーニングセンターに配置するという条件になる予定で、気高や鹿野にもそれぞれ職員を配置します。

【委員】一括して委託するメリットは何ですか。

【事務局】規模的な経費が抑えられるという見込みです。

【委員】指定管理者制度が導入されて結構年月が経つわけですが、今すでに指定管理に移行している施設のバランスシート（貸借対照表）がわかれば教えてください。

【事務局】本市は指定管理者選考委員会を設けており、毎年モニタリングという形で、収支のバランス、あるいはサービスに対してどういった実施状況であるかということが点数に表され、チェックが行われています。こうしたモニタリング、管理運営状況の確認結果は、市のホームページで公表しています。

【委員】経費を抑えることは当然必要ですが、施設の利用を増やして、全体の収入をあげていくということを考えないといけない。ある程度施設利用料が入ってくるように。そういうことで計画的にコストを削減し、一年度が終わったら評価をする。

【事務局】指定管理者制度に移行したとき、施設の利用料は、指定管理者が定めることができ、指定管理者の収入になるような制度ということで動いています。

【委員】今、市では公共施設のあり方、見直しが片方では議論されていますが、公共施設の見直しとの整合性はありますか。

【事務局】正直なところ別です。ただ検討が今後進んでいきます。その中で、青谷地域の5施設について3年間は指定管理に出し、その間に検討が進んでいくものもあろうかと思えます（2回目以降は指定管理5年）。

(2) 青谷上寺地遺跡の整備活用計画の状況について

○県埋蔵文化財センター青谷調査室が資料「青谷上寺地遺跡の整備活用計画の状況について」により説明

【委員】計画を立てて随時していくのはいいのですが、ちょっと目を引くなにかしら動きがあるといい。ジオパークの一環としてそこも整備しながら、ウォーキングっていうのが流行っているので、認定コースとか、海岸を歩いて遺跡に行くというコースを組むと、中高年層が喜んで参加したりするので、いい取組なんじゃないかと思います。

【事務局】これほどすごい遺跡のそばに小中高がある地域も珍しいと思うので、これからどんどん地域の学校に活動に来ていただけるような、情報提供も続けていきたいと思っています。

【委員】最終的に資料館が建つと思うのですが、その際、古代の脳はふるさとに帰ってきますか？

【事務局】脳は、氷温保存という技術で装置を作って保管しています。しばらくは、厳重に保管しながら活用できる技術が発達するのを待たざるを得ません。青谷上寺地遺跡には、脳に勝るとも劣らない出土品が実はたくさんあり、しばらくはこの素晴らしい物たちで勝負できる環境を整えたいと思います。

【委員】町外からたくさん見に来られますが、どこに青谷上寺地遺跡があるか、もう少しわかりやすい何か認識ができるようなものがあればと思います。

【事務局】整備が終わるまでの間に、いろいろ工夫したいと思っています。

【委員】遺跡をそのまま残し、見えるようにしながら保存するという方法もあるがどうですか。

【事務局】実物展示という手法があり、薬剤なんかで物が腐らないようにしながら本物を見せるという工夫がされているのですが、うまくいっている事例がほぼありません。青谷の場合、豊富な地下水のおかげで二千年経っても残っていた。実物展示をする場合、この地下水が防腐処理の妨げとなり、我々の技術とか知識ではちょっと手に負えないという感じがしています。今後の調査でできる場所が見つかれば、やるべきだと思っています。

【委員】素人考えですが、なぜ住んでいた場所は見つからないのでしょうか。

【事務局】そこが最大の謎ですね。可能性としては、水辺にあります、そういうところに長く人が暮らしているのか、港がある、そこでモノづくりの場所はある、けれども日常住まいは、離れた場所にあるっていう可能性もあるのではないかと思います。

(3) 委員提案について

○副支所長が資料「委員提案について」により説明

【委員】 こうやって委員提案の管理表（進捗状況）を作られて非常にありがたいが、委員提案は、やはり委員サイドのディスカッション、コミュニケーションをやることで、よりいいものになっていくのではないかと思います。

【会長】 今後、より青谷のためにということを念頭に置いて、意見交換等をしていきたいと思います。また委員提案がありましたらお願いします。

(4) その他

【委員】 冒頭支所長の方から災害対応等の話もありましたが、台風情報とか避難情報とか、どういうふう伝わっているのか。それは行動に結びついているか。災害対応に向けての問題提起への検証を、ぜひ市の方でもお願いしたい。

青谷町の老人クラブでも、今、勝部川流域の方にアンケートを取っています。高齢者避難開始という情報が発令されたことがあるものですから、情報がどう伝わっていたか、避難したか、しなかったか、しなかった理由は何か、こういったことのアンケートを取っているところです。

【事務局】 自助、共助、公助などについて、ふだんから地域の方たちと災害対応について協議しておく必要を感じています。アンケートを利用させていただければありがたいです。